



NEWSLETTER

京都府立医科大学 WLB支援センター みやこ



第4学年総合講義「医師としてのキャリア支援」



平成29年度から毎年行っている第4学年総合講義で、今年度も泉美貴先生（昭和大学医学部 医学教育学講座 教授・医学教育推進室 室長・卒後臨床研修センター センター長）に「医師としてのキャリア支援」の講義を9月29日に行っていただきました。今年度は新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大防止のためにオンラインによる遠隔講義形式で行われました。

●留学の勧め

6年生の時に1週間ほどハワイ大学に留学したが、現地の医学生がそつなく色々なことをこなすのを目の当たりにしてショックを受け、勉強をしなければならないと強く感じた。離れたところに行き、色々な人がいるということを見て、他者を理解してほしい。“留学は他者を思いやるために、他者を経験するために必要”ぜひ経験してほしい。

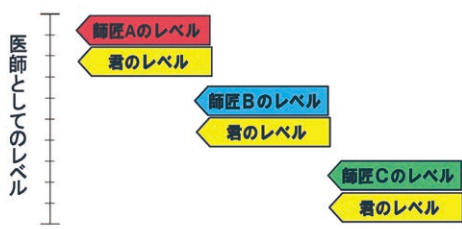
●医師はプロプロフェッションである

世の中が変わってもプロフェッショナリズムは変わらない。多くのことがAIに取って代わられるだろうが、プロフェッショナリズムで普遍なこと、医師として何が必要かということ、専門家（エキスパート）・癒し人であること、そして社会との契約、一生涯医師として働き、人として社会に尽くすことである。



医師としての君のレベルは、MAXでも 師匠のレベルのちょっと下

- ・師匠の少し下までは、到達できる。
- ・師匠を超えるのは、至難の業。

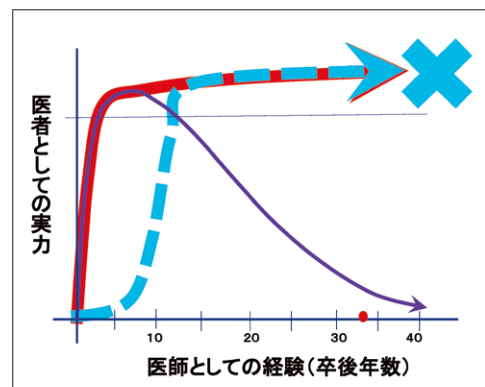


●医師として成功する3つのコツ

医師として成功する秘訣はたった3つである。

まず、一つ目は良い師匠につくこと、レベルの高い師匠、教室に入局すればよい。米国の医療はマクドナルドのようにすべてがマニュアル化されているが、日本は「見て做え」なので、誰に就くかが勝負の分かれ道になる。

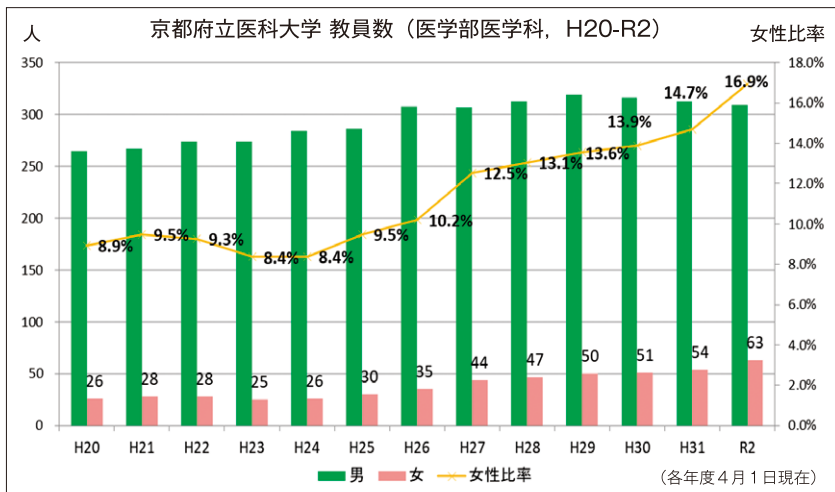
次に、卒業して最初の5年間は死に物狂いで働くこと、初期に必死に働けば、道は自然に拓ける。泉の法則というのがあり、医者としての実力は最初の5年でぐんと伸びて、伸びた人だけが一流の医者になれる。



そして、結婚を急がず良い伴侶を見つけること。H19年に科研費で行った実態調査で、常勤を辞めたことがあるという女性医師が55%いた。幸せな結婚と仕事の両立のために、社会的に成功したいと願う気持ちは自分も伴侶も同様であるということが理解できる相手を選べばよい。仕事と家庭の両立は、助力を得ることを厭わなければ十分可能である。

*30年後に幸せな医師であるべく、悔いのない学生生活を!

●本学医学科における女性教員比率が上昇しました。



平成22年度に男女共同参画推進センター（当時）が開設され10年を経て、開設時に比べて本学医学科における女性教員数が2倍以上増加いたしました。

WLB支援センターみやこでは今後も、女性に限らず、医療従事者・研究者が仕事と個人生活を享受し、充実した人生を歩めるように、環境整備に取り組んで参りたいと思っております。

WLBみやこ賞・WLB若手研究者賞

審査の結果、令和元年度のWLBみやこ賞・WLB若手研究者賞の受賞者を決定しました。

授賞式および発表会は11月6日（金）にハイブリッド開催（Zoomによる同時配信あり）いたします。

■ WLBみやこ賞

呼吸器内科 助教 金子 美子

■ WLB若手研究者賞

神経内科 大学院生 竹脇 大貴
視覚機能再生外科学 病院助教 三重野 洋喜

京都府立医科大学 WLBみやこ賞

京都府立医科大学における女性研究者の優れた研究活動を表彰することにより、研究意欲を高め、学術研究の充実と人材を育成し、本学、ひいては我が国の研究活動を活性化することを目的として、「WLBみやこ賞」を創設いたしました。

申請期間
令和元年 12/13 (金) ～ 令和2年 1/24 (金)

対象者
・本学において研究を行う本学所属の学内専攻の女性研究者（学内講師以下）
・専任教員として論文3件以上発表している者（期間は無関係）
・授賞式に出席し、発表することができる者。

賞 額
受賞者に謝状として報奨金（10万円・総額1名）を支給する。

応募書類など詳細について
WLB支援センターのホームページからダウンロードしてください。
https://www.kpu-u.ac.jp/wlbmiyakosupport/wlb_mi_award.html

応募・問い合わせ先
京都府立医科大学 WLB支援センターみやこ
TEL: 075-251-5465
E-mail: miyakosupport@kpu-u.ac.jp
URL: <http://www.kpu-u.ac.jp/wlbmiyakosupport/>

京都府立医科大学 WLB若手研究者賞

京都府立医科大学における若手研究者の優れた研究活動を表彰することにより、研究意欲を高め、学術研究の充実と人材を育成し、本学、ひいては我が国の研究活動を活性化することを目的として、「WLB若手研究者賞」を創設いたしました。

申請期間
令和元年 12/13 (金) ～ 令和2年 1/24 (金)

対象者
・本学大学院に在学中の4月1日現在、博士課程の修了、修了式に出席し、発表することができる者。

賞 額
受賞者に謝状として報奨金（1名あたり5万円・総額2名）を支給する。

応募書類など詳細について
WLB支援センターのホームページからダウンロードしてください。
http://www.kpu-u.ac.jp/wlbmiyakosupport/wlb_young.html

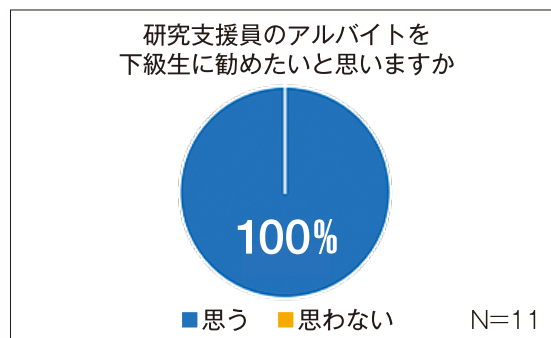
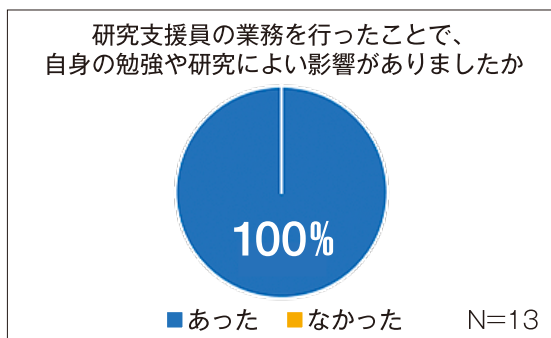
応募・問い合わせ先
京都府立医科大学 WLB支援センターみやこ
TEL: 075-251-5465
E-mail: miyakosupport@kpu-u.ac.jp
URL: <http://www.kpu-u.ac.jp/wlbmiyakosupport/>

研究支援員雇用事業

公益財団法人京都府医学振興会からの支援（公益財団法人京都府医学振興会女性医師研究支援事業）により、研究支援員雇用事業を実施し、今年度は5名が選考されました。

● 令和元年度の研究支援員アンケートより

（R1年度研究支援員 本学医学科学学生11名（男性8名・女性3名）、その他1名）
（R1年度F/S研究員付き研究支援員 本学医学科学学生4名（男性1名・女性3名））



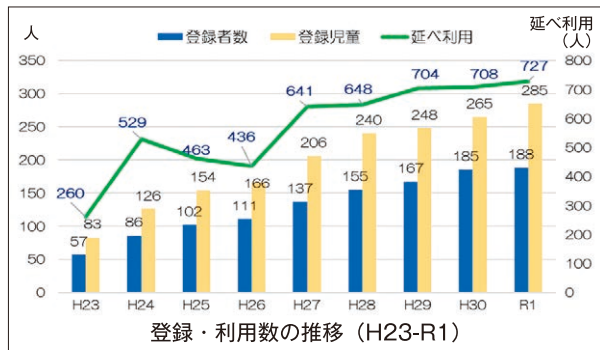
- ・ 実際の研究の一端に携わることができ、医学生として将来像を考える上で大変参考になった。
- ・ 気軽に実験手技を行える環境があることで、自分の技術力の向上につながったと思う。また、先生方とお話することによって、論文の書き方など今後役に立つ知識の習得にもつながった。
- ・ 基礎研究がどの様に成り立っているのか理解できた。将来の仕事のイメージが広がった。
- ・ アルバイトとして研究補助をするだけだと思っていたが、その過程で沢山のことを教わり経験できた。また、研究室や医局で先生方と交流を持つことで、医師としてのキャリアを考えるきっかけにもなった。是非、他の学生にも経験して欲しいと思った。

令和3年2月13日（土）に、フューチャー・ステップ研究員、研究支援員雇用事業利用者 研究成果発表会を行う予定です。

京都府立医科大学における子育て支援



病児保育室「こがも」



受入対象者：京都府公立大学法人の教職員等の
生後6ヶ月～小学校6年生までの病気の子ども
開室日・時間：月曜日～金曜日（祝日及び年末年始除く）
午前7:45～午後5:30
定員：5名（別途京都市民枠3名）

*** 問い合わせ先：病児保育室「こがも」**
E-mail: kyotofuritsuika-byojikogamo@aigran.co.jp
TEL: 075-251-5272



URL <https://www.kpu-m.ac.jp/j/miyakomodel/careroom/riyou.html>

学内保育所「くすのき」

学内保育所では、年度途中の入所を随時受け付けております。

受入対象者：京都府公立大学法人の教職員（有期雇用職員含む）の子
（生後57日目から3歳未満（入所年度4月1日現在））

開室日・時間：月曜日～土曜日（祝日及び年末年始除く）
午前7:30～午後6:30（火・金曜日は午後9時まで延長可）

*** 問い合わせ先：京都府立医科大学 企画・研究支援課**
TEL: 075-251-5588
E-mail: kikaku01@koto.kpu-m.ac.jp



ベビーシッター利用補助事業

公益社団法人全国保育サービス協会の「ベビーシッター派遣事業」を活用し、
ベビーシッター利用額の補助を行っています。

※詳しくはHPをご覧ください。
<https://www.kpu-m.ac.jp/j/miyakomodel/support/babysitter.html>



ベビーシッター利用補助事業
割引券を利用できます
【仕事と子育ての両立支援】を目的として、全国保育サービス協会の「ベビーシッター派遣事業」を活用して、ベビーシッター利用額の補助を行います。

対象者	対象児童年齢	補助額
本学の教職員（非常勤含む） 専業主婦、専業主夫、専業主婦兼パート、専業主夫兼パート、専業主婦パート、専業主夫パート、専業主婦パート（パートタイム勤務） 専業主婦パート（パートタイム勤務） 専業主夫パート（パートタイム勤務） 専業主婦パート（パートタイム勤務） 専業主夫パート（パートタイム勤務）	0歳～小学校3年生（保育者手帳などを有する子どもの場合、小学校6年生まで）	1日（回）対象児童1人につき2,000円

利用方法
1. 事前申請
2. 事前申請書に添付する書類
3. 事前申請書の審査
4. 事前申請書の承認
5. 事前申請書の承認後、事前申請書の提出
6. 事前申請書の承認後、事前申請書の提出

事前申請書に添付する書類
1. 事前申請書
2. 事前申請書の添付書類
3. 事前申請書の添付書類
4. 事前申請書の添付書類
5. 事前申請書の添付書類
6. 事前申請書の添付書類

事前申請書の提出先
〒606-8501 京都府立医科大学 企画・研究支援課
TEL: 075-251-5588
E-mail: kikaku01@koto.kpu-m.ac.jp

WLBサポート利用スタート補助金

育児、出産、介護、通院等と両立させながら研究活動を行う医師・研究者が
それらの支援サービスを初めて利用する際の補助金を交付します。

※詳しくはHPをご覧ください。
https://www.kpu-m.ac.jp/j/miyakomodel/support/wlb_support.html



京都府立医科大学 WLBサポート利用スタート補助金
出産、育児、介護、通院等と両立させながら研究活動を行う医師・研究者がそれらの支援サービスを初めて利用する際の補助金を交付します。

対象者
京都府立医科大学の教職員等（学生・研修員等を含む）

支援対象
● ベビーシッター
● 家事補助サービス
● 育児支援（生活支援等の場合）
● 介護サービス
を初めて利用する場合

補助金額
20,000円までをひとり1回限り（20,000円に満たない場合は、領収書に記載された金額）

申込方法
サービス利用後、申請書と領収書（コピー等）をWLB支援センターみやこセンター長へ提出

申請・問い合わせ先
京都府立医科大学 WLB支援センターみやこ
TEL: 075-251-5165
E-mail: wlb@koto.kpu-m.ac.jp
https://www.kpu-m.ac.jp/j/miyakomodel/support/wlb_support.html

搾乳室・女子職員休養室

学内にいる搾乳室や女子職員休養室を利用できます。

※詳しくはHPをご覧ください。
<https://www.kpu-m.ac.jp/j/miyakomodel/support/resting.html>



「キャリア支援コンソーシアム “えん”」メンバー募集



- WLB支援センター みやこでは、平成29年4月に広報・啓発事業の企画・運営にご協力いただく「キャリア支援コンソーシアム “えん” (CCえん)」を立ち上げ、メンバーを学内外から広く募集しています。

メンバーになると

1. キャリア支援に関する最新の情報が得られます
2. 各種相談の窓口としてご利用いただけます
3. 講演会等への講師を紹介・派遣します



※詳細、メンバー加入申し込みについてはHPをご覧ください。

<https://www.kpu-m.ac.jp/j/miyakomodel/activity/CCen.html>

京都府立医科大学
WLB支援センター みやこ



「CCえん」世話人 (R2.4.1現在)

<学外>

武曾恵理 (京都華頂大学現代家政学部・食物栄養学科教授), 池田栄人 (京都第一赤十字病院院長), 小林裕 (京都第二赤十字病院院長), 糸井恵 (明治国際医療大学整形外科教授), 田村秀子 (田村秀子婦人科医院理事長), 田邊智子 (株式会社京都メディカルクラブ代表取締役社長), 平原直樹 (京都きづ川病院泌尿器科部長), 佐藤礼子 (乙訓保健所長) (卒業年次順)

<学内>

田口哲也 (内分泌・乳腺外科学教授), 高山浩一 (呼吸器内科学教授), 加藤則人 (皮膚科学教授), 福井道明 (内分泌・代謝内科学教授), 藤本早和子 (副病院長兼看護部長), 藤原敦子 (泌尿器外科学講師), 金子美子 (呼吸器内科学助教), 峠岡理沙 (皮膚科学講師), 牛込恵美 (糖尿病治療学講座講師) (卒業年次順)

「キャリア支援コンソーシアム “えん”」令和2年度講演会・パネルディスカッション

テーマ：医療人の働き方改革を共有しよう

日時：令和3年2月28日(日) 午後3時～

会場：京都府立医科大学 第一講義室(基礎医学学舎 1階)

寄附のお願い

平成26年6月に本学男女共同参画推進センター寄附金の募集を開始し、令和2年3月末現在、延べ個人136名、5医学教室、および38法人から6,990,000円のご寄附をいただきました。誠にありがとうございました。

この寄附金で、搾乳室・女子休養室・おむつ替え台等の環境整備や、講演会・ニュースレター発行の広報啓発事業を実施させていただきました。さらに昨年度はWLBサポート利用スタート補助金、WLBみやこ賞、WLB若手研究者賞を創設いたしました。

WLB支援センター みやこでは、今後とも長期展望を見据えた事業計画のもと、性別にかかわらず医師および研究者を支援していきたいと考えています。引き続き、皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

寄附の詳細については、下記HPをご覧ください。

寄附のお申込みがHPからできるようになりました。

<https://www.kpu-m.ac.jp/j/miyakomodel/activity/donation.html>



寄附金に対する免税措置について

この寄附金は、所得税法、法人税法による税制上の優遇措置を受けることができます。

法人の場合 法人税法により、全額を損金扱いとすることが可能です。

個人の場合 所得税法により、総所得金額から寄附金の額を控除することができ、税金の対象となる額が軽減できます。個人住民税(京都府、京都市にお住まいの方)についても控除の対象となっております。



お知らせ

■「ワークライフバランスに係る相談窓口」を開設しています。ぜひ、ご活用ください。

▶詳しくはHPをご覧ください。



ワークライフバランス支援センター みやこ

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465

電話：075-251-5165

Eメール：miyako@koto.kpu-m.ac.jp

URL：<https://www.kpu-m.ac.jp/j/miyakomodel/>